

整形外科・歯科領域

コンビネーションプロダクト

薬物と機器を組み合わせたコンビネーションプロダクトは高い治療効果が期待されるものの、冠動脈疾患の治療に用いる薬剤溶出ステントを除き、わが国で製品化されているものはまだまだ少ない。最近、人工関節置換術に用いる骨セメントに抗菌薬を含有した製品が新たに承認されている。筑波大学医学医療系では、厚生労働省の革新的医薬品・医療機器・再生医療製品実用化促進事業として、医薬品医療機器総合機構との間で人材交流を行うとともに、整形外科・歯科領域コンビネーションプロダクトの安全性と有効性の評価法の確立に資する研究を実施し、この分野の製品のガイドライン案を検討している。本シンポジウムでは、本事業のこれまでの成果を報告するとともに、整形外科・歯科領域コンビネーションプロダクトの今後の展開について議論したい。

- | | | |
|-------|---|--|
| 13:00 | 開会の辞 | 吉川裕之 (筑波大学医学医療系長) |
| 13:05 | プロジェクトの概要 | 坂根正孝 (筑波大学医学医療系次世代医療研究開発・教育統合(CREIL)センター長) |
| 13:20 | 整形外科領域のコンビネーションプロダクトの現状 | 勝呂 徹 (東邦大学名誉教授) |
| 13:50 | 歯科とコンビネーションプロダクト | 吉田靖弘 (北海道大学大学院歯学研究科教授) |
| 14:20 | ガイドライン案策定の経過報告 | 伊藤敦夫 (産業技術総合研究所
ヒューマンライフテクノロジー研究部門研究グループ長) |
| 14:50 | 開発プロジェクトの報告 | 柳 健一 (筑波大学医学医療系教授) |
| 15:20 | コーヒー・ブレイク | |
| 15:30 | コンビネーションプロダクトと医薬品医療機器等法 | 磯部総一郎 (厚生労働省大臣官房参事官
(医療機器・再生医療等製品審査管理担当)) |
| 16:00 | 革新的医療機器開発におけるPMDAの取り組み
ーコンビネーションプロダクトの開発・審査を中心にー | 鈴木由香 (医薬品医療機器総合機構医療機器審査第二部部长) |
| 16:30 | 総合討論 | 司会：石川邦夫 (九州大学大学院歯学研究院教授) |
| 17:00 | 閉会の辞 | 坂根正孝 (筑波大学医学医療系CREILセンター長) |

日時：平成**26**年**11**月**19**日(水) 13時～17時

場所：筑波大学東京キャンパス地下1階多目的講義室1
〒112-0012 東京都文京区大塚3-29-1

[会場案内図] https://www.tsukuba.ac.jp/access/bunkyo_access.html

参加料

無料

事前登録



QRまたは
https://docs.google.com/forms/d/1bYUNyiqzqW2wsuQ62ISQe0wUa_dODHF07JfqfWDkrXQ/viewform
にアクセスしていただき、事前受付フォームからご登録ください
<http://www.md.tsukuba.ac.jp/CREIL/>
からもご登録いただけます

お問い合わせ



筑波大学医学医療系
次世代医療研究開発・教育統合 (CREIL) センター
TEL&FAX : 029-853-3326 E-mail: infocreil@md.tsukuba.ac.jp
<http://www.md.tsukuba.ac.jp/CREIL/>